

## 2016年11月実績概要（メモ）

（2016.12.15）

誘導品を含めた定修もほぼ終了し、生産は前月比、前年比とも過半の品目で増加となった。

### 1. 生産動向

イ) エチレン 557,800トン

前月比                    +7.4% (+38,400トン)  
前年同月比                ▲4.3% (▲24,900トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	▲3.2%	-
定修要因等	+8.1%	-
能力増減	-	▲6.9%
稼働率変動	+2.5%	+2.6%
生産増減率	+7.4%	▲4.3%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月95.5%→当月97.8%←前年同月95.4%

定修プラント：前月2社2プラント→当月なし←前年同月なし

2016年1～11月累計生産量 5,699.4千ト 前年同期比▲9.1%

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、定修規模の縮小と日数減が相合わさり、LD、PP、SM、塩ビモノマー、MMAモノマー、EG、SBR、BR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの14品目がプラスとなった。PS、塩ビ樹脂などの3品目は主に日数減からマイナスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因からLD、PP、PS、AN、トルエン、キシレンなどの11品目がプラス。HD、MMAモノマー、BRなどの6品目は主として稼働率要因からマイナスとなった。

### 2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数減があったが、定修系列数の減少からLD、HD、PPでプラスとなった。PSは日数の減少に伴いマイナスとなった。

前年比では、LDは定修規模差と稼働率要因から、PP、PSは稼働率要因からそれぞれでプラスとなった。HDは稼働率要因からマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、4樹脂揃ってプラスとなった。LD、HD、PPでは主に射出成形分野、PSは電機・工業用分野の出荷が増加した。

前年比では、4樹脂で前年を上回る出荷となった。11月単月の出荷量としては近年ではいずれも高めの出荷となっており、特にLDは加工紙分野、HDでは中空成形分野、PPでは射出成形分野、PSでは雑貨・産業分野での出荷の増加が見られている。

ハ) 輸出

出荷自体の傾向は変わらず、国内向けの出荷が中心となっている。当月は前月に輸出が減少したLD、PSはプラスとなったが、HDは横這い、PPはマイナスとなった。

前年比では、前月と同様にHD、PSはプラスとなったが、LD、PPでは引き続き前年割れの状態となっている。

ニ) 在庫

在庫量は、前月に対してLD、PP、PSで増加し、HDは減少した。在庫率(季節調整済)は前月に対してLD、PP、PSで同率、HDはやや低下した。在庫水準としてはLD、PSはほぼ適正、HD、PPは若干のタイト傾向がでている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		10月末	11月末
LD	+11,800	2.7	2.7
HD	▲3,700	2.5	2.4
PP	+5,300	2.5	2.5
PS	+2,400	1.4	1.4

以上